

# ラフトンファイラーシリーズ

## ラフトンカチオンファイラー

JIS A 6916

建築用下地調整塗材  
(セメント系下地調整塗材1種)

ラフトンカチオンファイラーは、特殊カチオン系エマルジョンを混和液に用いた、接着強度に優れる下地調整塗材です。これまで密着性に難があった磁器タイル面や既存塗膜面、またセメント瓦・スレート屋根の塗替の下地調整に最適な塗材です。また、ラフトンカチオンファイラーは、JIS A 6916建築用下地調整塗材・セメント系下地調整塗材1種（下地調整塗材C-1）適合品です。

### 特長

1. 各種下地(磁器タイルなど)との密着性に優れています。
2. 耐ひび割れ性、耐衝撃性に優れています。
3. 速硬性のため工期の短縮、作業能率アップになります。
4. ぜい弱な下地を均一に強化し、仕上材の耐久性、防水性を向上させます。
5. 保水性がよく、薄塗りでもドライアウトしません。
6. 新築、改装と幅広く使用でき、こて塗り、ブラシ塗り、吹付けが自由に使い分けできます。

### 用途

- 磁器タイル改装の下地調整
- セメント瓦・スレート瓦・スレート屋根改装の下地調整
- 打放しコンクリート・モルタル・PC部材・ALCパネル面の全面地付け、吸い込み止め
- 打放しコンクリート・PC部材の不陸・段差・巣穴の補修
- 改装下地の補修、下地ごしらえ

### 性能

試験項目	試験結果	規格 (JIS A 6916)	
軟度変化 %	8.5	-20~20	
耐ひび割れ性	合格	ひび割れない。	
耐衝撃性	合格	ひび割れ及び剥がれがない。	
付着強さ N/mm <sup>2</sup>	標準養生	1.3	0.7以上
	低温養生	1.3	0.5以上
吸水量 g	0.5	2.0以下	
仕上材が 複層仕上塗材の 場合の耐久性	表面状態	合格	割れ、膨れ及び剥がれがなく、付着強さは0.7以上とする。ただし、仕上塗材だけで破断した場合は0.5以上とする。
	付着強さ N/mm <sup>2</sup>	1.3	

### 標準施工仕様

#### 混ぜ合わせ

塗材	こて塗り	ブラシ塗り	吹付け
ラフトンカチオンファイラー			
粉体	20kg	20kg	20kg
混和液	10kg	10kg	10kg
清水	—	4~6kg (L)	4~6kg (L)

#### 施工要領

工程	施工方法			
下地処理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 施工前の下地処理に準じてください。</li> <li>● 磁器タイル面につやがある場合は、サンダーなどで目荒ししてください。</li> </ul>			
下地調整	施工	こて塗り	ブラシ塗り	吹付け
	標準所要量 (セツト当り) (厚み)	左官用こて パテペラ 0.8~1.7kg/m <sup>2</sup> (17~37m <sup>2</sup> ) (約0.5~1.0mm)	左官用ブラシ セメント刷毛 ナイロン刷毛 0.7~1.0kg/m <sup>2</sup> (30~42m <sup>2</sup> ) (約0.4~0.5mm)	万能ガン 口径: 3~5mm (リシン口) 吹付圧力0.35~0.45MPa 0.7~1.0kg/m <sup>2</sup> (30~42m <sup>2</sup> ) (約0.4~0.5mm)
養生期間	24時間以上(23℃) 放置後、仕上塗材を施工してください。			

- 混合した材料は夏期1時間以内、冬期1.5時間以内にご使用ください。
- 巣穴の多い下地への吹付けは、吹付け後ブラシですり込むように塗り付けてください。

吹付圧力の単位1MPa=9.8kgf/cm<sup>2</sup>

### 注意事項

- 施工上及び取扱い上の注意事項をご参照ください。
- 化粧スレート瓦が下地の場合は、水洗いなどの下地処理を入念に施してください。
- 本品はカチオン系ですので、アニオン系の材料とは絶対に混合しないでください。

### 荷姿

- ラフトンカチオンファイラー粉体  
…20kg (クラフト紙袋入り)
- ラフトンカチオンファイラー混和液  
…10kg (石油缶入り)